

高濃度細菌 有機質特殊肥料

バイオポスト

土壤生命を回復、維持する農業用酵母

Biopost
Biopost
Biopost

グリーンに活力。



フランス農水省所有マーク

微生物と良質の腐植が、芝地に活力を与えます。

特長

- ① 100%植物質の原料に腐植生成菌群を加えて醗酵させたものです。
- ② 細菌を高濃度に含んだ腐植です。
- ③ 肥料成分は、原料の植物を醗酵させて取り出したので僅かな量しかありませんが、吸収され易い状態の三要素及び微量元素がバランスよく保たれています。
- ④ pH値=6.0~7.5 C/N比=20~25 水分=22~26%
(※バイオポストは生きた製品なので、袋の中でも徐々に分解が進んでいます。従って、気温・湿度などの変化によって、上記の数値内で多少の変動があるのを避けることはできません)
- ⑤ 病原菌・寄生虫の卵・雑草の種子などは、全く含まれていません。
- ⑥ 各製造ロットごとに、必ず発芽試験を行い、安全性の確認を済ませてあります。

効果

- ① バイオポストに含まれる微生物は、床土の中でも根を活性化する種々の有機成分を作りますので、芝草は猛暑や冷害に対して抵抗力が高まります。
- ② 土壌中の有機物を分解して、腐植に変えることができます。
- ③ 通気性・保水性を高めます。
- ④ 化学肥料・有機肥料の施用効果を高めます (CEC=51.5meq/乾物100g)。
- ⑤ 土壌中の不溶解化合物 (特にリン酸) を加給態にし、作物に吸われ易くします。
- ⑥ 土壌の微生物バランスを回復し、有害菌の繁殖を抑えます。
- ⑦ バイオポストは腐植そのものなので、植物の根付き (活着) を早め、毛根の量が増えるとともに根張りが旺盛になります。

ゴルフ場でのバイオポストの使用目的

- ① グリーン床土に残るサッチや、有機物の蓄積でできたブラックレーヤー等を分解して透水性を回復する。
- ② 微生物のバランスを回復し、病原菌の繁殖を抑える。
- ③ 根量を増やし、肥料成分の吸収力を高める。
- ④ 殺菌剤への依存度を低くする。
- ⑤ ベントグラス播種後の発芽揃いや、芝張り後の活着を早める。
- ⑥ 春の芽吹きを良くする。
- ⑦ 擦切れからの回復の早い芝を作る。
- ⑧ 急激な気象変化の影響を受けにくいグリーン造りを目指す。

◆減農薬・省農薬を目標とした維持・管理には最適の微生物資材です。

(注意) 高温下で、しかも直射日光が強い時間帯は、バイオポスト単体での施用を控えてください。目砂と混合して施用する場合でも、散布後すぐに灌水して葉に付着しているバイオポストを落としてください。但し、造成時の床土に混合する場合は問題ありません。

バイオポストの効果的な施用方法

～ ゴルフ場での具体的な施用方法 ～

フランス産バイオポストは15kg入りで、ゴルフ場においては、主としてグリーン、ティーグラウンド及びナーセリーに施用されています。また、落葉堆肥やぼかし肥料を作っているゴルフ場では、その醗酵を早めるために、バイオポストを混入するようにおすすめします。

バイオポストは、通常、目土（目砂）と混合して散布しています。粉状ですから、床土に大変馴染み易く、土に早く同化します。特に、多種類の有用微生物を植えつけた土壌改良資材としては、最高の品質です。



バイオポストの施用量

施用量は、各ゴルフ場の床土の構造・状態によって、あるいは肥培管理の方法によっても異なると思いますので、以下に平均的な施用量を紹介いたします。

① グリーンの造成時……………1～3kg/m²

一般的には、砂、土壌改良材、堆肥、有機肥料等の床土資材と混合しますが、他の有機物など腐植の原料を使わない場合は、作土に、重量比3%のバイオポストを混ぜてください。

*更に、ベントグラスの播種前にバイオポストを200g/m²ほど全面に均一に散布しておくこと、発芽とその後の活着促進に特に効果があります。張り芝の場合も、予め同量のバイオポストを均一に散布してから、芝を張っていくと活着が早まりその後の根張りも旺盛になります。

ナーセリーでも、この方法に準じてバイオポストを施用してください。事情によりオーバーシードする場合も、同様に前もってバイオポストを散布しておくことをお勧めします。

② ティーグラウンドの造成時……………500～1000g/m²

グリーンの場合と同様に作土に混合してください。他の有機資材と混ぜても結構です。

③ グリーン・ティーグラウンドの維持……………1回100～300g/m²（年2回以上）

エアレーションの後、バイオポストをそのまま又は目砂と混合して散布し、均一にすり込んでください。

また、少量（50g/m²以下）のバイオポストを砂に混ぜておき、毎年数回以上目土（目砂）として薄く施しているゴルフ場もあります。

*殺菌剤を使用する場合は、バイオポスト施用時との間隔をできるだけ空けてください。

通常の殺菌剤の効果から判断すると、前後3日～5日以上空けると良いでしょう。

*いずれの場合も、施用後はたっぷりと灌水して、バイオポストを床土に馴染ませるとともに、バクテリアを床土内部に浸透させてください。

生産者：フランス・バイオポスト社

特約代理店

輸入元：バイオポスト アジア 株式会社

〒164-0012 東京都中野区本町5-23-13
TEL.03-3384-8210